

平成21年度事業概要について

【滞在型観光促進等関係】

「はこだてチケット」

- ・公共交通と観光施設等の入場を一体とした市内定額周遊チケットの実証事業。
- ・チケット価格：1冊 2,000円
函館国際観光コンベンション協会と連携し、市内26箇所で取扱中。
- ・実施期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日
- ・利用者：1,401名（平成21年4月～10月末現在）

「地域でつくる小さな旅」

- ・体験型観光メニューの充実を図るため、旅のアイデアを市民募集。
募集期間：平成21年4月10日～5月31日
応募件数：28件
- ・応募作品について、ルートマップ化も含めた活用策を検討中

「渡島檜山ドライブ&ステイ」

- ・渡島檜山管内18市町の観光施設・温泉・飲食施設等を「もぎりチケット」を利用して車で巡る、チケット型ドライブ周遊観光の実証事業。
- ・チケット価格：1冊 2,000円
函館国際観光コンベンション協会と連携し、道内7箇所で取り扱い。
- ・実施期間：平成21年9月1日～11月30日
- ・利用者：179名

「各種ツアー実証実験」

- ・「冬の海峡物語 - 冬の東北・函館、松前、江差」縄文から江戸へ
道南歴史浪漫紀行～函館「大船遺跡」と冬の松前歴史散策～
JRと連携し、1月～3月で3回実施予定
- ・「函館・下北半島湯めぐりと恵山・恐山霊場散策そして大間のマグロ丼満喫の旅」
近畿日本ツーリスト(株)と連携し、実施済み
(実施日)平成21年10月26日～28日,(参加人数)29名
- ・「バル街とライトアップ施設巡りを楽しむ旅」
近畿日本ツーリスト(株)と連携し、実施済み
(実施日)平成21年4月19日～20日,(参加人数)20名
- ・早朝型産業観光ツアー（JTBと連携し、組み込み商品として長期販売中）
- ・青函レール&ステイ（旅行代理店との連携により、3月実施予定）
- ・「とっておき旬の味覚収穫祭ときらめきの函館」(催行人数に満たらず、不催行)

「ルートマップ作成」

- ・観光ボランティアガイドやはこだて検定合格者の経験や知識を活用し、主要な観光ルートのみならず、歴史や文化、ライトアップ巡りやロケ地巡りなどのさまざまな分野別にルートづくりを行い、市民・観光客がともに楽しめる「まちあるきルート」を作成し、長期的なストックとして情報発信を行う。
- ・現在 10 ルートのマップを作成中

【ブランドPR関係】

「ブランド戦略策定」

- ・函館ブランドの確立に向けた基本戦略を策定するため、従来の観光施策と実際の旅行者のイメージのギャップ測定や、効果的な観光PR手法についての調査によるブランド戦略の策定。
- ・12月下旬に結果報告予定

「はこだてランチイベント」

- ・函館ならではの食材を用いたオリジナルのランチメニューを提供するため、地元店舗と協力し「はこだてランチョン 2009」を実施。
(期間)平成 21 年 7 月 1 日～9 月 30 日 (参加店舗) 19 店舗
- ・現在結果を集計中

「はこだてMOMI - Gフェスタ」

- ・下期の観光入込客数の増加に向けた新たな取り組みの一つとして、秋の香雪園を舞台に紅葉ライトアップやミニコンサートなどのイベントを開催。
(期間)平成 21 年 10 月 24 日～11 月 15 日

「函館山要塞フットパス」

- ・「函館山と砲台跡」の魅力ある資源を活用し、散策メニューとして函館山要塞フットパス事業を実施。
(実施日)平成 21 年 9 月 10 日 旅行関係者向け
平成 21 年 10 月 30 日 一般向け

【新規旅行商品造成補助関係】

「新規旅行商品造成補助金」

- ・秋冬に函館市域内で催行する新規旅行商品の提案を募集し、書類審査により優秀であると認められ採択された旅行商品について、当該旅行商品に係る広告宣伝費を助成。
(募集期間)平成 21 年 6 月 11 日～7 月 3 日 提案：8 件 採択：7 件
平成 21 年 10 月 5 日～10 月 16 日 提案：2 件 採択：2 件

【観光客誘致宣伝関係】

「生活情報誌広告」

- ・グルメや旅行等に関心の高い20～30代女性の購買者層が多い「poroko」(札幌圏7万部)と、「OZ magazine」(主に首都圏10万部)に、7月号と12月号の年2回広告を掲載。

「街頭ビジョン広告」

- ・HAKOTUBEで配信している「はこだて観光CM」を、仙台の「アオバビジョン」と、東京のアルタビジョン新宿で平成21年6月1日～30日の期間放映。

「JRスポットCM広告」

- ・JR車両内の液晶テレビ「トレインチャンネル」において、函館開港150周年を含めた函館を印象づける15秒CMを平成21年6月22日～28日の期間放映。

「クレジット会員向け観光客誘致キャンペーン」

- ・JCB会員誌やホームページのほかダイレクトメール等を活用した旅行商品のPRを行い、函館への観光客誘致を展開。

「東アジア地区定期プロモーション」

- ・トップセールス：韓国(ソウル・高陽(コヤン))10月
中国(上海・広州)10月,台湾;(台北)11月
中国(上海・広州)2月実施予定
- ・プロモーション:中国(北京・上海)4月・10月
韓国(韓国旅行博参加等)6月・9月,香港旅行博 6月
シンガポール・マレーシア 6月
台湾(台北)8月・10月
第2回「韓国観光商談会」2月参加予定

「訪日・在日外国人向けフリーペーパーへの広告」

- ・在日外国人の購読が多くWEB版もあるフリーペーパー,「att.JAPAN」に開港150周年と函館観光の特集記事を5月号,6月号に掲載。

「台湾観光客実態把握調査」

- ・平成20年度に韓国人観光客向けに実施した実態把握調査を,今年度は台湾人観光客を対象に実施し,函館観光に関する実態の把握を12月～1月にチャーター便で来函する観光客を対象に実施する。